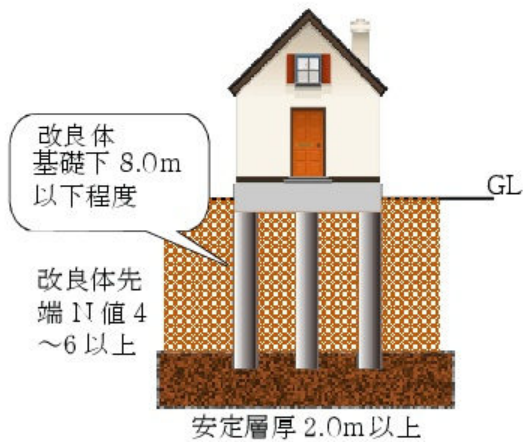


湿式柱状改良(深層混合処理工法/杭状地盤補強)



適応地盤

不安定な地盤で建築物を長期に亘って支持する地耐力はないが、中間層(GL-2.0m~8.0m程度)に比較的安定した層(N値4以上)が2.0m程度の層厚で確認できる場合に適応します。

改良工法

セメント系固化材と水を混合し、ミルク状にして地中に注入・混合・攪拌して建築物を支持する改良体を地中に作ります。

1. 改良機械

計測器による施工管理



2. セメント系固化材

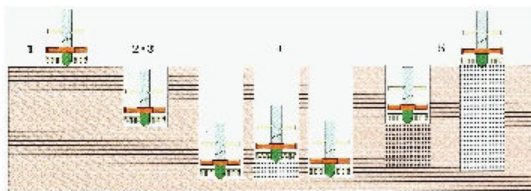
セメント系固化材の六価クロム溶出低減型を使用



3. プラント設置



湿式柱状改良
柱状造成工程図



テストピース採取:

改良土を採取し、
一軸圧縮試験に
より過強度を確認



4. 施工

セメントミルクを原地盤に注入しながら、土と混合・攪拌し原地盤土を柱状に固化させ地盤を補強します。



5. 施工完了

改良完了後杭頭部は専用
カッター等によるレベル合せ

